

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

29年6月27日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 大分県杵築市下田俣水5253-8

住所 町村 富之男

氏名

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

町村 牧場

事業場の所在地

杵築市 下田 俣水 5253-8

計画期間

平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

01 農業

②事業の規模

乳用牛 78頭

③従業員数

2人

④産業廃棄物の一連の処理の工程

動物のフン尿 ①自ら堆肥化

動物の死体 ①処理業者に変換処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (28 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	糞物 972 尾	動物の死体
	排出量	1120 t	0.5 t
	(これまでに実施した取組)		
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	糞物 972 尾	動物の死体
	排出量	1320 t	1.5 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	重物のフン尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1050 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	重物のフン尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1050 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	重物のフン尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	300 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	重物のフン尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	300 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のフン尿	動物の死体
	全処理委託量	t	/ t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	動物のフン尿は全て堆肥化		
	動物の死体は 化糞場 に委託して処理している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の72月	動物の死体
	全処理委託量	t	/ t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
処理を委託する場合は今後再生利用業者に委託する			
動物の死体は化製場に委託し処理する			
※事務処理欄			